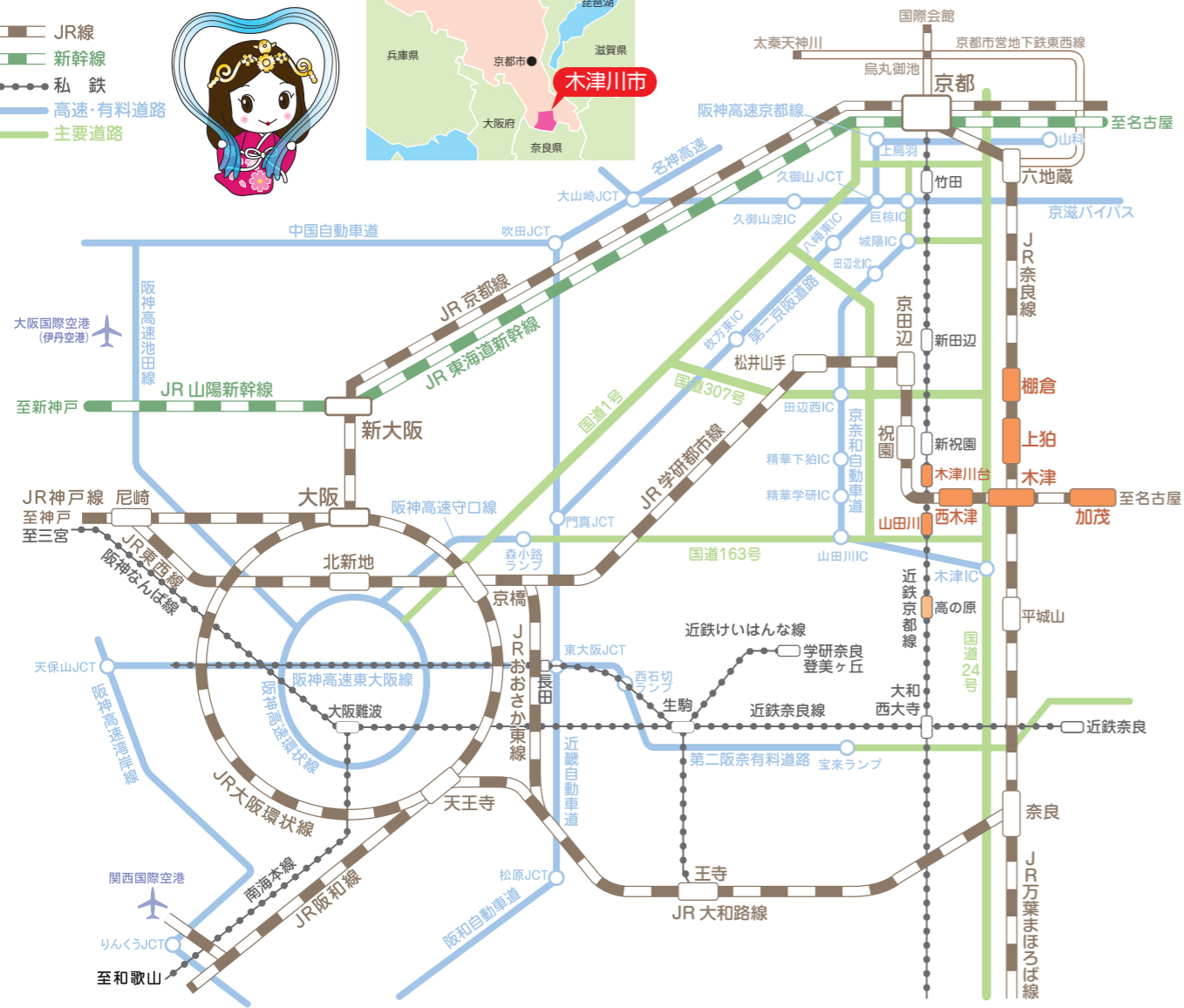


# 木津川市へのアクセスマップ

- JR線
- 新幹線
- 私鉄
- 高速・有料道路
- 主要道路



## 電車・バスを利用の場合



### 奈良駅から 約9分

- 奈良駅→(JR大和路線快速)→木津駅
- 奈良駅→(JR大和路線快速)→加茂駅(15分)

### 大阪駅から 約60分

- 大阪駅→(JR大和路線)→木津駅
- ※北新地駅→(JR東西線・片町線(学研都市線))→木津駅(約70分)

### JR・近鉄奈良駅からバス 約23分

- 浄瑠璃寺・当尾の石仏・岩船寺へは、浄瑠璃寺行の急行バスが便利です。

### 大阪国際空港から空港バス 約80分

- 大阪国際空港→(空港バス)→JR奈良駅→(JR大和路線)→木津駅
- 大阪国際空港→(空港バス)→近鉄奈良駅→(近鉄奈良線)→大和西大寺駅→(近鉄京都線)→高の原駅、山田川駅

### 関西国際空港から(JR阪和線・環状線) 約90分

- 関西国際空港→(JR阪和線)→天王寺駅→(JR大和路線)→木津駅
- 関西国際空港→(南海線)→大阪難波駅→(近鉄奈良線)→大和西大寺駅→(近鉄京都線)→高の原駅、山田川駅

### 京都駅から 約35分

- 京都駅→(JR奈良線快速)→木津駅
- 京都駅→(近鉄京都線急行)→高の原駅

### 新大阪駅から 約70分

- 新大阪駅→(地下鉄御堂筋線)→大阪難波駅→(近鉄奈良線)→西大寺駅→(近鉄京都線)→高の原駅、山田川駅
- 新大阪駅→(JR京都線)→大阪駅→(JR大和路線)→木津駅

### JR木津駅・加茂駅・榎倉駅・近鉄高の原駅・山田川駅からバス

- 市内には路線バス・コミュニティバスがあります。詳しくはお問い合わせください。

## 車を利用の場合



### 奈良駅から 約15分

- 奈良→(国道24号線・国道163号線)→木津・加茂(30分)
- 奈良→(府道44号線)→加茂(25分)

### 京都駅から 約35分

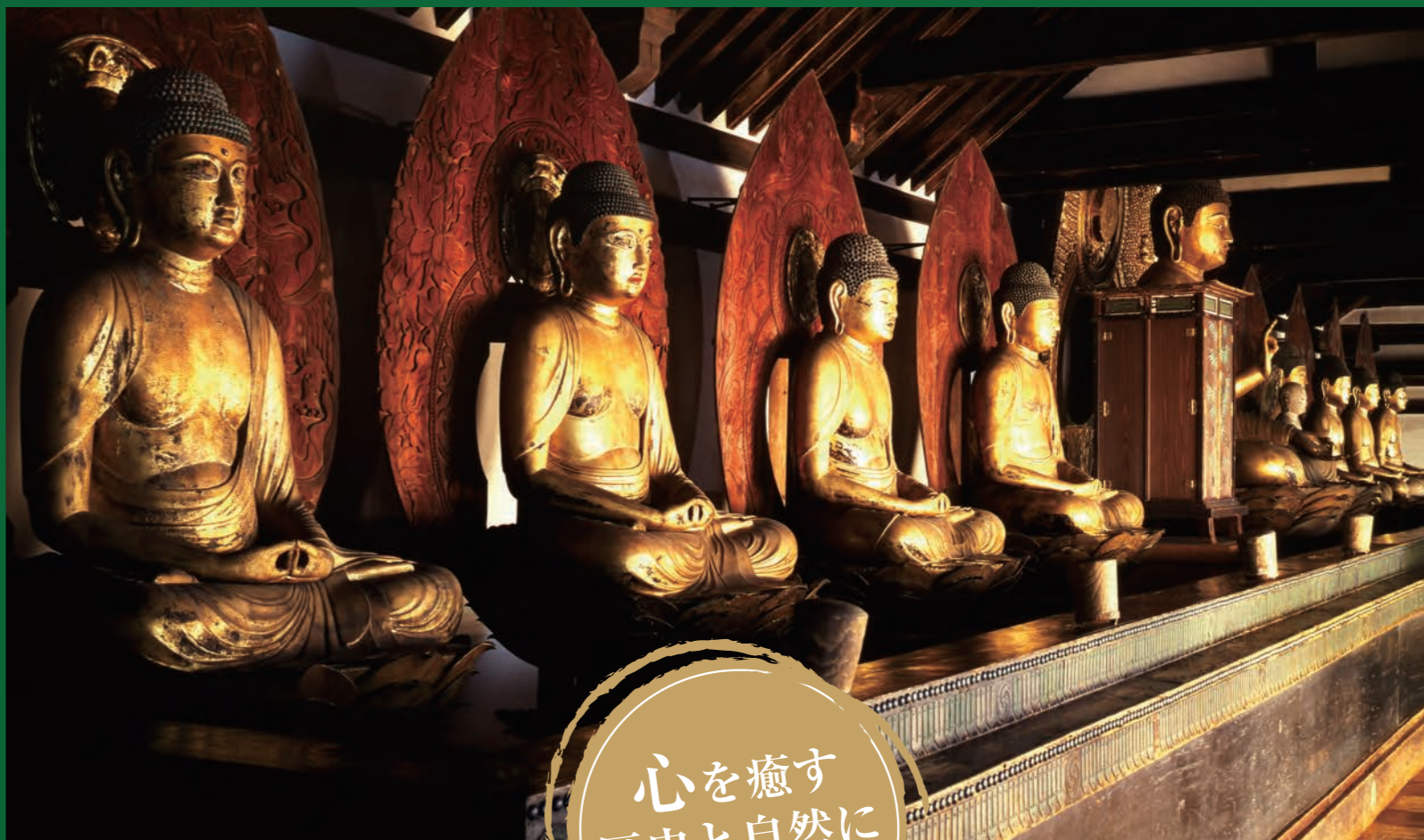
- 京都→(阪神高速・第二京阪)→八幡東IC→(府道他)→田辺北IC→(京奈和自動車道)→山田川ICまたは木津IC

### 大阪駅から 約50分

- 大阪→(阪神高速・第二京阪)→奈良→木津川市
- 大阪→(阪神高速)→森小路→(国道163号)→木津川市

京都府  
木津川市

# Kyoto KIZUGAWA



心を癒す  
歴史と自然に  
出逢う



木津川市観光商工課  
京都府木津川市木津南垣外110番地9  
TEL0774-75-1216  
http://www.city.kizugawa.lg.jp

一般社団法人 木津川市観光協会  
京都府木津川市州見台1丁目1番地1  
ガーデンモール木津川2階  
TEL0774-73-8191・FAX 0774-73-8136

木津川市の詳しい観光情報は <http://www.0774.or.jp>

# 季節の移ろいを感じる



蟹供養放生会



しょうらい踊り(府登録文化財)



木津御輿祭(市指定文化財)



いごもり祭(重要無形民俗文化財)

## 歳・事・記

- 1月 火渡り(和泉寺)、御田:(大宮神社・相楽神社)
- 2月 餅花祭(相楽神社)、いごもり祭(涌出宮)
- 3月 女子座の祭り(涌出宮)
- 4月 蟹供養放生会(蟹満寺)
- 6月 行者まつり(浄瑠璃寺)、虫送り(木津鹿背山地区)
- 7月 虫送り(山城町橋井地区)、地藏祭り(泉橋寺・法蓮寺)
- 8月 しょうらい踊り(山城町上粕地区)
- 9月 アーイー<相撲奉納>(涌出宮)、護摩たき(神童寺)
- 10月 岩船のおかげ踊り(白山神社)、木津御輿祭(御霊神社・岡田国神社・田中神社)
- 12月 中風封じ大根炊き(海住山寺)



**岩船寺 三重塔(重要文化財)**  
室町時代 1442年、本瓦葺、高さ 18.3m  
仁明天皇が智泉大徳の遺徳を偲んで承和年間(834~847)に宝塔を建立したと伝える。塔は境内の奥、東を正面として建つ。現存する塔には室町時代の嘉吉2年(1442)の刻銘があることから、この時の建立とされる。



**浄瑠璃寺 三重塔(国宝)**  
平安時代 治承二年 1178年移築、桧皮葺、高さ 16.1m  
治承二年(1178)京都の一条大宮にあった三重塔を解体・移築された(浄瑠璃寺流記事)。塔の内部は、四天柱・心柱がなく、本尊の薬師如来坐像が安置され、壁画に十六羅漢や飛天が描かれている。



**海住山寺 五重塔(国宝)**  
鎌倉時代初期 1214年、本瓦葺、高さ 17.1m  
鎌倉時代のものとして唯一残る五重塔(装幀もこし)を持つ五重塔は法隆寺とこの塔のみで、五重塔としては室生寺に次いで小さい。装階は建立後数十年後に付加えられ、江戸時代に撤去されたが、昭和36年の修理で再び取り付けられた。

歴史を  
見つめてきた  
**三塔**

# 自然とふれあう散策道

## 忘れかけた美しい日本と出逢える道

木津川市東南部の加茂町当尾(とうの)地区は、多くの石仏や石塔があることで知られ「美しい日本の歴史的風土100選」に選ばれています。繊細で芸術性の高い石仏は当尾の里の広範囲にわたり、ゆるやかな下り道の散策コースの道中では旬の野菜が並ぶ吊り店(露店)など、四季折々の美しい山村の風景が楽しめます。



わらい仏(加茂石仏)

石仏の道コース 約2km

- JR加茂駅東口
- 岩船寺
- 白山神社
- 一願不動
- わらい仏
- カラスの壺
- あたご灯籠
- 藪の中の三尊
- 浄瑠璃寺
- JR加茂駅東口

## 古代ロマンを感じ歴史と出逢う道

南山城の山ぎわをゆるやかにうねるように続くこの小径には、木津川の雄大な自然、日本一の石造地蔵菩薩坐像のある泉橋寺、40軒の製茶工場や茶問屋が今も軒を連ね、また卑弥呼の鏡とも呼ばれる「三角縁神獣鏡」が多数出土した樗井大塚山古墳、国宝釈迦如来坐像で有名な蟹満寺など、豊かな自然や魅力ある文化財があり、ロマンに溢れています。



蟹満寺 釈迦如来坐像(国宝)

山背古道一日コース 約10km

- JR木津駅西口
- 大智寺
- 泉橋寺
- 茶問屋街
- 上粕環濠集落
- 樗井大塚山古墳
- アスピーアやましろ(三角縁神獣鏡)
- 涌出宮
- 蟹満寺
- 高倉神社
- JR玉水駅

## 幻の都「恭仁宮」を訪ね瓶原を巡る道

かつての都、「恭仁宮」(くにのみや)があった瓶原地区を巡ります。往時の遺構が残る恭仁宮跡(山城国分寺跡)は歴史の中心舞台であったことがしのべられます。文化財整理保管センター分室では、恭仁宮跡出土の瓦などの遺物展示やビデオが上映されています。海住山寺の五重塔(国宝)、本尊十一面観音立像(重要文化財)や、眺望も素晴らしく、四季を通じて豊かな自然を満喫できます。



恭仁京鳥瞰図

瓶原堪能コース 約7.5km

- JR加茂駅西口
- 木津川万葉歌碑
- 文化財整理保管センター分室
- 恭仁宮跡
- 大井手用水
- 海住山寺
- JR加茂駅西口

## 自然の中で遊ぼう

山城町森林公園

自然豊かな森林の中にあるキャンプもできる公園です。BBQや川遊びもでき、自然に触れることができます。



<http://www.rest-village.com/>

## ココでしか出逢えない心がほっとするお守り



岩船寺 魔除けお守り

蟹満寺 土鈴・お守り

岡田鴨神社 八咫烏鈴

海住山寺 国宝五重塔御守護



## 未来の光を体験しよう



<http://www.wapr.kansai.jaea.go.jp/kids-photon/>

## 最先端の街を体験しよう

けいはんな学研都市とは

新時代を創造する文化・学術・研究の拠点として役割を担う地域として、建設が進められ発展している関西文化学術研究都市のことです。この地域には、多種多様な企業・研究所が立地し、最先端の製品開発や研究が進められています。

## お茶の魅力体験しよう



<http://www.fukujuen.com>

福寿園 CHA 遊学パーク

石臼体験やお茶のいれ方教室など、世界の人々に愛され親しまれ続ける茶に、より深く関わり親しんでいただけの施設です。

# Yamashiro 山城エリア

やましろ  
往時へいざなう山背の路

**涌出宮** わきでのみや C-2  
和伎座天乃岐岐(わきにいますあめのふきめ)神社が正式名であり、俗に涌出宮と呼ばれています。雨をもたらす神として古代農耕民に崇拜され、中世以来続く宮座行事は、国の重要無形民俗文化財に指定され2月の「居籠(いごもり)祭」は、天下の奇祭として有名です。



本殿(府登録文化財)

**松尾神社** まつおしんじや D-3  
松尾神社は、社伝によると天平勝宝年間(749～757)にはじまる古社で、国の重要文化財に指定されている本殿は、江戸時代の天明6年(1786)に造営された奈良春日大社若宮本殿を文化5年(1808)にこの地へ移築したものです。表門両脇の土塀は、鎌倉時代の瓦を練り込んだ土塀です。



本殿(重要文化財)

**泉橋寺** せんきょうじ D-4  
奈良時代の高僧行基(ぎょうき)が、天平12年(740)に開いた泉橋院(発菩薩院:ほつぼさついん)、隆福尼院(りゅうふくにいん)を前身とする寺院で、行基創建四十九院の一つといわれています。境内には五輪塔(重要文化財)があり、地藏堂跡に鎮座する石造地藏菩薩坐像は、高さでは日本一の石地藏として有名です。



石造地藏菩薩坐像

**蟹満寺** かにまんじ C-1  
普門山と号し、かつては紙幡寺、加波多寺とも表記され、白鳳時代の末期に創建されました。「古今著聞集」や「今昔物語集」に出てくる「蟹の恩返し」の縁起と国宝釈迦如来坐像で有名な寺です。釈迦如来坐像は蟹満寺の本尊で、高さ2.4m、重さ約2t余りの銅像です。



本堂

**神童寺** じんどうじ D-3  
室町時代に再建された本堂(蔵王堂)は、国の重要文化財です。また、収蔵庫には、国の重要文化財に指定されている木造不動明王立像、木造愛染明王坐像や木造阿弥陀如来坐像など多数安置されています。



蔵王堂(重要文化財)

**椿井大塚山古墳** つばいおおつかやまこぶん C-3  
昭和28年、古墳の後円部を南北に走る国鉄奈良線(現在のJR奈良線)の法面拡幅工事が行われた際に、竪穴式石室が発見されました。発掘調査で、石室内から、邪馬台国の女王卑弥呼の鏡とも呼ばれる「三角縁神獣鏡(さんかくぶちしんじゅうきょう)」三十数面を含む四十面近い銅鏡や多くの副葬品が出土し、全国的に大きな注目を集めました。



椿井大塚山古墳(国指定史跡)



## 歴史に出逢える木津川市

木津川市内には、浄瑠璃寺本堂や三重塔・庭園、海住山寺五重塔、蟹満寺釈迦如来坐像をはじめとして、京都府内では京都市に次いで多くの国宝・重要文化財があり、文化財の宝庫といわれています。






## 木津エリア

## 加茂エリア

### 梶ヶ谷隧道 (大仏鉄道遺構) E-4

大仏鉄道は、明治31年4月に加茂から大仏駅間で開業、翌年5月に奈良駅まで延長された鉄道です。明治40年8月に休止、11月にわずか9年で廃業されたため幻の大仏鉄道とも言われています。加茂駅から奈良駅までのかつての路線跡には、ランプ小屋や橋台等の遺構が残っています。当時の石積みやレンガ積みの高い技術を見て歩くのも楽しいものです。



### 京都府立山城郷土資料館(ふるさとミュージアム山城) D-3

南山城の歴史資料、考古資料、民俗資料等の保存及び展示をしている資料館。企画展や特別展、セミナー・各種講座などのイベントも開催されます。

開館時間：9:00～16:30  
 住 所：木津川市山城町上狛千両岩  
 休館日：月曜日(祝日の場合は火曜日)、12/28～1/4  
 料 金：大人200円、小中学生50円  
 (特別展期間中：大人250円、小中学生70円)  
 お問い合わせ先：0774-86-5199



**観光インフォメーション**



# Kizu 木津エリア

いにしへの息吹を感じる

### 相楽神社 さかなかじんじや C-4

相楽神社本殿(室町時代初期造営)は重要文化財、相楽神社末社若宮神社本殿(室町時代後期造営)は京都府登録文化財に、神社の森一帯は文化財環境保全地区に、社務所横にある櫻の古木(神木)は「京都の自然200選」に選定されています。正月行事一連(御田:おんだ・豆焼:まめやき・粥占:かゆうら・餅花:もちばな)は府指定無形民俗文化財に指定されています。



相楽神社本殿

### 大智寺 だいちじ D-4

奈良時代に行基によって木津川(旧名:泉川)に架けられた泉大橋は、後に流れ落ちましたが、鎌倉時代に至って、残っていた橋柱から文殊菩薩を刻みだし、伽藍を建立して安置したのが現在の大智寺の前身の橋柱寺と言われています。その後衰退しますが、寛文9年(1669)東福門院の下賜によって本叙が中興、橋柱山大智寺と改号しました。



文殊菩薩坐像(重要文化財)

### 安福寺 あんぷくじ D-4


開基は『往生要集』を著した恵心僧都と伝えられています。平重衡(たいらのしげひら)命終の引導仏と伝えられる本尊「阿彌陀如来坐像」がある本堂は「寂堂(あわんどう)」と呼ばれ、境内には重衡供養塔と云われる「十三重石塔」があり、近くに重衡にかかわる「首洗池(くびあらいいけ)」や「不成柿(ならずがき)」もあります。



安福寺

### 岡田国神社 おかたくにじんじや D-5

旧社殿は舞台を中心に拝殿・氏子詰所を配する相楽郡地域に伝わる社殿配置形態をとどめています。秋には、江戸末期より続く御興祭が行われます。5基の御興がそれぞれ町内を練り歩き、岡田国神社などで宮入りが行われます。



旧社殿

# Kamo 加茂エリア

心に残る風景に出会う

### 高田寺 こうでんじ E-4

本尊薬師如来坐像(重要文化財)は、平安時代の洗練された仏像として知られています。像高87cm、台座の高さ75cmで昭和48年の修理の際、台座裏に保安の年号と藤原実方の「さつきやみくらはし山のほととぎすおほつがなくもなきわたるかな」という歌が発見され、保安年間(1120～24)頃製作されたと云われています。この墨書の記述などから、昭和49年3月国の重要文化財に指定されました。



薬師如来坐像(重要文化財)

### 西明寺 さいみょうじ E-3

加茂盆地大野山の麓にある真言宗の古刹で、僧行基の創建と伝えられています。江戸時代の大規模な洪水で現在地に移動。本尊薬師如来坐像(重要文化財)は、台座とも平安時代当初のものです。像は櫻の一木造で、胎内の銘文から承永2年(1047)9月造立と判明しました。



薬師如来坐像(重要文化財)

### 恭仁宮大極殿跡 くにきょうだいごくでんあと E-3


恭仁宮の中心地区である大極殿院地区は広い前庭をとめない、前庭から1段高い位置に大極殿が建てられていました。大極殿は、天皇を中心とした儀式や政治を行う上で最も重要な建物でした。現在、東西約60m、南北約30m、高さ約1mの土壇が残されており、これが大極殿の基壇と推定されています。



山城国分寺跡

### 海住山寺 かいじゅうせんじ E-2


海住山寺は、天平7年(735)、聖武天皇の勅願により、東大寺の良弁僧正が開創したと伝えられています。山上の伽藍は貞慶が復興してからのもので、本堂の傍らにそびえる五重塔は、山並みに映える鎌倉時代の傑作で、国宝に指定されています。十一面観音立像や文殊堂、絹本著色法華経曼荼羅図、海住山寺文書はいずれも国の重要文化財に指定されています。



五重塔(国宝)

### 岩船寺 がんせんじ F-5

市域の東南部、奈良県境の小田原の東側に位置している古刹。寺の縁起によると、天平元年(729)、聖武天皇の勅願によって開基したと伝えられています。平安時代に本尊阿彌陀如来坐像、普賢菩薩騎象像、鎌倉時代に十三重石塔や五輪塔、室町時代に三重塔(いずれも重要文化財)が造られました。山あいにあることから、初夏の新緑、秋の紅葉に三重塔が映えて、境内に奥行きを与えています。また、境内一帯に植えられたあじさいが美しく「あじさい寺」として知られています。



普賢菩薩騎象像(重要文化財)

### 浄瑠璃寺 じょうるりじ F-5

寺の縁起には、奈良時代に聖武天皇が僧行基に命じて建立させたのがはじまりと伝えていますが、浄瑠璃寺の記録「浄瑠璃寺流記」では、承永2年(1047)に当麻出身の僧義明が薬師如来を安置して開基したことを伝えていますが。その後、平安時代末期になって九体阿彌陀仏を安置する阿彌陀堂(国宝)を建立、京都より三重塔を移築し、庭園を整備して今日の姿になりました。



浄瑠璃寺本堂

### 当尾の石仏 とうのせきぶつ F-5

市内東南部の当尾地区には、多くの石仏や石塔があることで知られています。特に平安時代から修行僧の庵室や行場が設けられていた当尾には、浄瑠璃寺・岩船寺の界隈に、鎌倉時代後期から室町時代にかけて、行き交う人々のために多くの磨崖仏が造立されました。織細で芸術性の高い石仏が多く点在し、石仏の里として訪れる人が絶えません。



藪の中三尊磨崖仏



大門仏谷